

## 移住者紹介コーナー！

今回は京都から大田口黒石地区へ移住してきた、太田家族をご紹介します

京都では街の方に住んでおり、旦那さん運送業、奥さん百貨店で洋菓子販売をしていたそうです。もともと田舎暮らしや、自給自足の生活、農業などにお互い興味があり、3年前長男を授かったことを機に移住を考えたそうです。

「移住をするなら、子供を緑のある自然環境でのびのびと、人としての生きる力を身につけ、強くたくましく育てかった。」というおふたり。

移住を検討する中で、大阪で行われた新・農業人フェアや高知県が開催しているアグリスクールを受講し、実際に鰯のタタキを食べに来てみたところ高知もいいかと思ったそう。

「気がつく和高知の知り合いが増えていた。県の職員が四万十町にある農業担い手育成センターを紹介してくれてトントン拍子に進んでいった。」と高知の県民性があと押し。

平成29年6月から30年の3月まで担い手育成センター研修中、嶺北を回ってみたところ山好きな旦那さんが気に入る、その中でも大豊町の山暮らしに興味津々。

大豊町の職員にトマト農家を紹介してもらい、住み込み体験をしたところ4月からトマト農家の間さんのところへ研修に行くことが決まり、私たちNPO法人も空き家を紹介させて頂きました！



太田（おおた）さんご一家

現在、旦那さんは32年3月まで間さんのところで研修、奥さんはユズ加工場へ。

「窓の外が山。この景色が最高。思ったほど不便じゃなかった。人が優しく、温かく受け入れてくれている。冬がとても寒いと聞いたのでちょっと不安もあるかも…」と現在の住んだ感想。

今後の展望は、研修終了後に自立就農。作るのも食べるのも好きなトマトを栽培する予定。

とにかく家族での生活を大切に、子供との大切な時間を一緒に過ごしたい。山暮らしを堪能、満喫し、後々はログハウスを建てたいな…と笑顔。これから自分達の生きる場所を作り上げていきたいとおっしゃっていました！

(中平)

## みんなで祝おう「町民の日」第2回もちつき大会開催！ 4/22(日)



4月22日に行われたこのもちつき大会に大豊町「町民の日」を祝う会の協力団体として我々も参加してきました。

大豊町が今の形になったのは昭和30年3月31日で、昭和53年に大豊町民の日等の制定に関する条例が施行されています。その第1条には「平和で豊かで幸せな町づくりを求めて止まない大豊町民は、美しい郷土の風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築き上げるために、ここに町民こそって祝い感謝し、励まし合い助け合うために記念する日を定め、これを「町民の日」と名づけると共に、特に「町民憲章強調月間」を設けてコミュニティ精神の高揚に努める。」と記されており、毎年4月が強化月間となっています。

みなさんは大豊町にこんな条例があることをご存知でしたでしょうか？

このもちつき大会は、条例を通して町民の日を祝い合うことで大豊町へ愛着を持って欲しいということが始まりでした。今年は2年目ということもあり、もちつきはイチゴ大福に力をいれ、ステージでのイベントを充実させることができたことでより魅力的な町民の日になったのではないのでしょうか。また、各方面からは食材の提供などをしていただいたりと、昨年以上に大豊町に関わる様々な方からの協力のもとで開催することができました。来場者数も昨年を超える方々に来ていただいて、スタッフ側としても大成功のイベントでした。

(猪野大)



あなたの住む集落で「貸したい／売りたい」空き家をご存じないですか？  
大豊町での暮らしを望む方がいます。  
文化・風習を継承したい方がいます。  
貸しても(売っても)いいという家主さんがいたら、ぜひご連絡ください！

080-8635-2253



5月19日（土）・20日（日）の二日間にわたり、鏡川みどりの広場・鷹匠公園・山内神社にて開催された、高知県最大のビッグイベントに、今年も「おおとよガレット」が出店してきました。10時のオープン前から行列ができるお店もあるほど、お客様はおいしい物・素敵なもの・珍しいものを求めてお越しになり、2日間で延べ5万人ほどの来場者数だったとのこと。今回の「おおとよガレット」は新たに2つの取り組みをしてイベントに臨みました。①自分たちで栽培したそば粉を使用。②お待たせする時間を短縮するため鉄板を増やす。結果は大好評で、昨年以上の売り上げを達成、たくさんのお客様に大豊の事、当団体の取り組みの事など知ってもらい、高知では珍しいガレットを食べてもらうことができました。「そば物語」として栽培から販売までおこなうこの事業は、団体の活動の柱としてさらなる進化を続けていきます。（野田）



## れいほくお山の手づくり市 大豊町で開催！！ 6/3（日）

大豊町では2回目の開催となる「れいほくお山の手づくり市」は、6月3日（日）に津家・すすみどうにて開催され、町内外からたくさんの方にお越しいただき、こちらも昨年の2.5倍（推定800人ほど）の来場者と、大盛況でした。出店者も来場者も子供たちも、新緑のさわやかな風が吹く中、ゆったり・のびのび、とても楽しんでいただきました。大豊町民でもこの場所を知らない方が多く、当団体が苦労して整備してきたこの場所が、みんなの憩いの場になるよう、今後も整備していきたいと思ひます。（野田）



## 地球温暖化映画会のご案内

今回、映画会（DVD視聴）を計画しました。きわめて大きな問題で世界中でさまざまな対策や取り組みはなされているものの、あまり身近なこととして考えにくい、自分には関係ない、そんなに騒ぐことではない、何かなるだろう……などの様相も見えます。子どもや孫たち次の世代にどんな地球を残すのか。地球温暖化やそれに伴う異常気象、そしてそこから起きるさまざまな現象、またエネルギー問題の現状や課題などを共有できる一歩になればと考えています。

映画のあと少しの話し合いの場を持ちますが、まずは、みんなで一緒に映画を見ることを目的に計画しました。みなさん、お誘いあわせのうえぜひご来場ください。（下村）

日時 7月8日（日）午前9時～11時  
場所 大豊町総合ふれあいセンター  
内容 DVD 「不都合な真実」



ゴア元アメリカ副大統領による地球と人類の未来を予見するドキュメンタリー映画。社会通念や誤った認識に警鐘を鳴らし、地球温暖化が現実問題であることを知らしめるメッセージ。